

特別展示 山内逸三と藤井厚二ー聴竹居で育まれたものたちー

当館が所在する多治見市笠原町がタイルの街に変わるきっかけをつくった人物に山内逸三（1908～1992）がいます。山内は窯業学校を卒業後、京都の地で窯業・絵画・英語などを学び、1929年に帰郷。その後、約6年の時を経て施釉磁器モザイクタイルを開発し、その量産体制の基礎を確立させました。

そんな山内に多大な影響を与えた京都時代を語る上で欠かせない人物が建築家、藤井厚二（1888～1938）です。藤井は1928年、木造モダニズムの傑作にして2017年に重要文化財指定を受けた平家住宅、「聴竹居」を自ら所有する大山崎村（現：大山崎町）の土地に建て、家族と共に暮らしました。この藤井の元



聴竹居 本屋 外観 ©古川泰造

に、当時の山内は出入りしていたのです。家具や照明など、建築を彩るあらゆるものをデザインした藤井は陶磁器にも並々ならぬ関心を注ぎ、敷地内に窯を築いて「藤焼」と称するやきものを制作しました。

本展では、当時の京都で建築陶材の研究や陶磁彫刻の工芸化を牽引していた国立陶磁器試験所の存在を背後に見据えながら、山内が戦前に制作した美術タイル、そして本邦初となる、藤焼の中でもとりわけ特徴的な動物の陶磁彫刻を一挙、公開します。

◎見どころ

① 山内逸三の京都時代

これまで青年時代の山内の足取りは、まるで霧に包まれたかのような状態だったが、本展のための調査で多くの事実が明らかになった。山内が没してから30年以上が経ち、笠原、多治見のタイル産業の根本を振り返るにあたって、山内はその「祖」となる人物である。本展ではそんな山内の京都遊学時代の足跡を辿る。



聴竹居 本屋 外観のスケッチ 山内逸三

当館蔵

② 木造モダニズムの傑作、「聴竹居」と藤井厚二のやきもの

藤井厚二は西欧一辺倒ではない、新しい「日本の住宅」を模索し続けた人物である。その完成形といえる藤井の自邸、「聴竹居」は1928年に竣工し、2017年に国の重要文化財に指定された。そして同じ敷地内に窯を築いた藤井は、1922年頃からやきものの研究・制作をはじめ、亡くなるまでに多くの作品を残している。本展では、その中からとりわけ特徴的な陶磁彫刻を中心に23点の「藤焼」を紹介する。

また、当時、京都の最先端窯業研究機関であった国立陶磁器試験所においても、沼田一雅を中心に陶磁彫刻の工芸化研究が盛んであり、それら同時代の試験所／沼田の試作品との比較も楽しみいただく。



陶工場のスケッチ 山内逸三 個人蔵



鷺（さぎ） 藤井厚二 1935 年
竹中工務店蔵



鼬（いたち） 藤井厚二 1935 年以前か
竹中工務店蔵



鶉（うずら） 藤井厚二 1935 年以前か
竹中工務店蔵

本頁の写真は全て©小寺克彦



骨灰磁器菴鴨置物

国立陶磁器試験所（原型：沼田一雅） 1937 年
産総研中部センター所蔵 愛知県陶磁美術館管理

③ 山内逸三の美術タイルと施釉磁器モザイクタイル

現在の山内の評価として、多治見市がタイルの街に変わる端緒となった施釉磁器モザイクタイルの開発とその量産体制の確立が特筆されているが、戦前に彼が制作していた装飾的なタイル—いわゆる美術タイル—も多くの魅力に満ちている。本展では、そんな山内のタイルを一挙公開する。同時にそれは、現在美術タイルの担い手とされている池田泰山や小森忍などの系譜の中に、山内を位置付けていく作業でもある。さらにそうした美術タイルと施釉磁器モザイクタイルの違いもご覧いただく。



吐水口（獅子） 1931-35 年頃



マジョリカタイル 1931-35 年頃



曲面花文レリーフタイル 1931-35 年頃



青釉タイル 1931-35 年頃



装飾タイル 1931-35 年頃

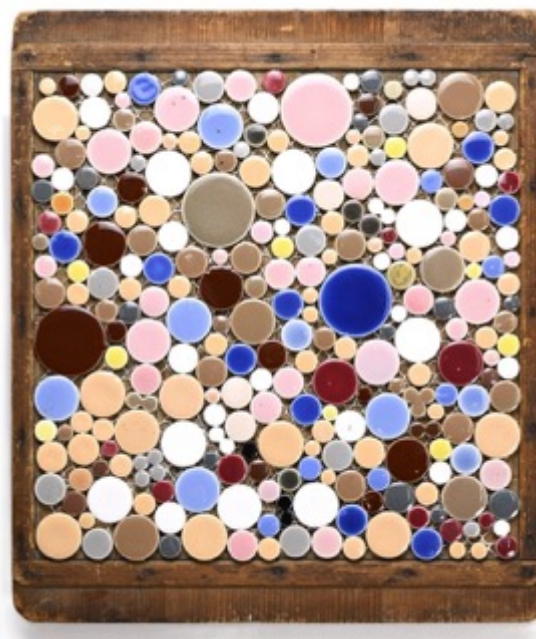
すべて錦窯タイル山内製陶所

当館蔵

©小寺克彦



施釉モザイクタイル（試作品か） 1931-35 年



貼板と施釉磁器モザイクタイル 1945-89（昭和 20-64）年頃

【要項】

会期 : 2025 年 10 月 4 日（土）～2026 年 2 月 1 日（日）

会場 : 多治見市モザイクタイルミュージアム 3F ギャラリー

休館日 : 月曜日（休日の場合は翌平日）、2025 年 12 月 29 日～2026 年 1 月 3 日

開館時間 : 午前 9 時～午後 5 時（入館は午後 4 時 30 分）

観覧料 : 一般 500 円、団体 400 円（特別展示料金）

高校生以下無料、障がい者手帳をお持ちの方及び付き添い 1 名様無料

主催 : 多治見市モザイクタイルミュージアム

監修 : 加藤郁美

協力 : 株式会社竹中工務店、一般社団法人聴竹居倶楽部、愛知県陶磁美術館、多治見市文化財保護センター、
関西美術院、学校法人松山大学、武庫川女子大学甲子園会館、株式会社カクジン、山周セラミック有限会社、国
立研究開発法人産業技術総合研究所中部センター

◎10 月 3 日（金）13：30～14：00 プレスプレビューを開催します。ご希望の方は、別紙要領により FAX、メー
ル等にてお申し込みください。

締切 : 9/30(火)17:00 まで